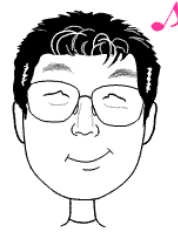


豊庄だより



第 547 号 2019 年 1 月 15 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

1 月 7 日のことでした。新しい年を迎えての初めての合同朝の会をしました。「新年、あけましておめでとうございます。ことしもよろしくおねがいします」と挨拶を交わしたあと、鏡餅の上においた大きな「みかん」を持ちながら、「このみかん、大きいね・・・」と話すと、すぐに、「橙（だいたい）だ〜」



と答えてくれた子がいました。ちょっとびっくりしました。続いて話したのが「春の七草」。前日にスーパーマーケットでセットで売っていたのを購入したのですが、「せり、なずな・・・」と順に言いながら取り出していました。しかし、ここで困ったことに気づきました。「せり、なずな」がありません。そればかりか、「春の七草」の中でセットの中に入っていたのは、「すずな」と「すずしろ」だけ。なんと、小松菜やネギが入っていました。騙されたのかと思い、容器に貼り付けてあったシールを見ると、そこに、「七野菜セット」とあり、「春の七草」とは書いてありませんでした。「一杯食わされた」と思いましたが、よく考えると、1 月 7 日に「春の七草」

を食べる習慣と言っても、旧暦の 1 月 7 日のことで、現在の暦では 2 月になるのです。2 月にならないと、「春の七草」は一般には手に入らないのは当然です。旧暦の 1 月 7 日を日にちだけが継承され、実際の気候と合わなくなっていることにほとんどの人が気づいていません。こうした例は 7 月 7 日の七夕も同様です（新暦の七夕はまだ梅雨明けしていません）。昔からの習わしを後世に伝えていくことは意味のあることですので、そう目くじらを立てずに見守っていけばいいとは思いますが・・・。

さて、この日（1 月 7 日）の昼のおやつは、「七草がゆ」でした。給食の先生に、「七草がゆって、何が入っているの？」と聞きました。すると、「ニンジン、大根、白菜、ほうれん草、そして鶏肉です」と教えてくれました。「七草」と言いながら、入っているのは大根だけでした。しかし、これも仕方ないですね。気分を取り直して、美味しく食べているかなとクラスを回りました。みんな、ニコニコしながら「七草がゆ」を食べていました。

1 月 21 日にもう一度、「七草がゆ」が、おやつで出ます。お休みをされていて、食べることができなかった人は、この日に味わってください。美味しいですよ。

